

令和2年度 第2回ICT利活用促進モデル事業 採択事業一覧

NO	提案事業者	事業名	分野	事業概要	審査における評価ポイント等
1	合資会社 松野铸造所	製造工程手順書・品質管理書類の電子化による業務効率化	B	<ul style="list-style-type: none"> クラウド対応の帳票管理ツールやカメラ付きタブレットを活用し、今まで手書きで行っていた手順書や不良対策書の作成を効率化・標準化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 不良対策書作成の効率化だけでなく、データを分類することにより傾向が分かり、今後の対策をうつことができる。 職人の技術が必要な鑄造業の中で、ICT化できる業務をICT化することで若い人材を雇用し、技術継承していけたら良い取組となる。
2	社会保険労務士法人 オフィス原川	定型業務の自動化およびデータ一元管理による業務効率化	B	<ul style="list-style-type: none"> RPAツールを導入して定型業務を自動実行させ、業務時間の短縮を図る。 紙媒体、様々な形式のデータをRPAツールと振り分けツールを活用し、一元管理して業務の効率化を図る。 	<p>定型業務が多い業種では、業務の効率化を見込むことができる。</p> <p>ツール活用の費用対効果を示し、同業種へ横展開できていくと良い。</p>
3	株式会社 大鉄アドバンス	新しい生活様式に即した「大井川流域のオンライン観光」	A	<p>ふるさとに帰省できなかった人やSLEEP客などに対して、商品の説明や絶景・体験など映像を組み合わせた大井川ならではの3密を避けて楽しむことができるオンライン観光の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光業が厳しい中、ICTを活用して観光業を盛り上げられる取組となる。また、他の観光施設等の事業者も巻き込んで事業効果を出していけると良い。

※分野

A：新ビジネス・サービス創出（技術の高度化・有効活用等）

B：生産性向上